

研究課題

脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻の診断と治療成績の解明に関する情報公開

1. 研究の対象

研究の対象 2010年1月1日から2018年12月31日に至るまでに当院で脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻に対するカテーテル治療および直達手術を受けられた方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

脊髄動静脈瘻とは、毛細血管を介さずに動脈から静脈に血流が短絡する疾患です。歩行障害・排尿障害・しびれ・痛みなどの進行性の神経脱落症状をきたし、治療困難な脳神経外科疾患の一つであるとされます。脊髄動静脈瘻は稀なため、他の脳神経外科施設においても、年に1～2件の経験に限られています。また、脳と比較して、脊髄は小さく重要な機能局在があり、血管手術が難しいとされます。これらの理由のため、現時点では診断や治療方法が確立していません。本研究では、東京都立神経病院を主たる研究機関とした多施設共同研究を行います。当院で治療を行った方の臨床情報を都立神経病院に提供し、データの解析を行います。多施設の症例経験を生かし、稀少疾患である脊髄動静脈瘻の鑑別診断と治療法の解明を目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

脊髄動静脈瘻症例について、特に、硬膜動静脈瘻と硬膜外動静脈瘻の鑑別診断に焦点を当てます。臨床情報（MRI・血管造影による術前術後画像診断、治療方法、治療後の閉塞率、術前後の神経症状、再発の有無などの転帰など）を主たる研究機関である東京都立神経病院に提供します。

4. 外部への試料・情報の提供

エクセルファイルへの臨床情報の記載を行い、そのエクセルデータを主たる研究機関において研究に携わる者以外がアクセスできないようパスワードロックをかけた状態で提供します。氏名、生年月日など個人を特定できる情報は削除します。臨床情報が不足している場合は、CD-ROMなどの媒体を追跡可能な郵送サービスにて郵送します。

5. 研究組織

共同研究機関は19 施設で次の通りです。

東京都立神経病院、北海道大学、東北大学、新潟大学、獨協医科大学、群馬大学、東京大学、横浜市立大学、信州大学、名古屋大学、大阪市立大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、久留米大学、鹿児島大学、成田赤十字病院、太田記念病院

東京都立神経病院 公式ホームページ

<http://www.byouin.metro.tokyo.jp/tmnh/medical/medical/neuro-surgery/study.html>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町65 052-744-2353 脳神経外科 江口 馨

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院脳神経外科 泉 孝嗣

研究代表者：東京都立神経病院 脳神経外科 高井 敬介

-----以上